「外堀川クリーン作戦」　まちづくりコミュニティ清掃　第一章　2013/3/23

実施月日	25年　3月　23日　（土）　10:00～11:30
施工場所	姫路市外堀川（三左衛門堀橋～庄田橋～城陽あげは橋）
参加人数	合計　18人　（会員 9人　市民 8人　学生 1人　12歳未満 1人）
ゴミの量	約　kg／　50袋　（ 中袋　大袋 ）

今現在、三左衛門外堀川は、兵庫県や姫路市の働きにより、河川公園等の美化整備が充実しています。
それにより、地域住人の、ウォーキング、散歩、休憩場、通勤通学路など、また園児や子ども達の遊び場、
家族のコミュニティの場にも利用されています。
しかし、とても有意義なインフラ整備が整った反面、デメリットの声があります。
ご存知の通り、河川公園域のポイ捨て等です。これは、利用度が盛んになれば、必然的に出てくる問題でもあります。
もちろん、県や市の美化清掃の活動や、委託による指示活動等は、十分承知しておりますが、
私共に届く住民の多くの声は、「ゴミが目立ってしかたがない」「三左衛門川まつりの前に、少しの掃除だけ」
「個人的にゴミを拾っていたが、高齢でもうできない」等々です。
思った以上に意見がありましたので、実際、確認してみました。
確かに多くのゴミがあり、市民としての意見も理解でき、また県や市の対策の難しさも確認できました。
私共の考えとしましては、
①市民が気づき問題に取り組む。②社会に広がり、それを国や自治体が社会問題とし、構築し解決していく。
（ここまでは対策や対応等、十分できていると思います。）通常、①と②にて課題が解決し終了しますが、
それでもなお、市民の不満がある場合は、市民活動やNPO法人の活動とし、双方の意見や状況を把握し
橋渡しすることが、重要な役割だと考えています。

清掃前

清掃後

「外堀川クリーン作戦」　まちづくりコミュニティ清掃　第二章　2013/6/9

実施月日	25年　6月　9日　（日）　10:00～12:00
施工場所	姫路市外堀川（二ノ切橋付近　三左衛門堀橋付近）
参加人数	合計　28人　（会員 7名　協賛5名　市民（応援見学含む）12人　学生 2人　12歳未満 2人）
ゴミの量	約　kg／　50袋　（ 中袋　大袋 ）

市民の協働。他団体の協働。中播磨県民局土木事務所・美化業務課・環境対策室の協力のもと行われました。
時期的に浮草が繁殖し、不法投棄されたゴミが動かない状態での回収活動となりました。
前回では、浅瀬にゴミが溜まったところを集中的に回収できた反面、今回は浮草に引っ掛かり行動範囲が広域になりました。それがゆえ全面回収とまでは至りませんでしたが、今回もまた多くの量の引き上げに成功しました。
季節や天候の状態により、河川の状態も色々な変化をもたらす為、実施方法や活動計画の多様性が必要だと分かりました。近隣の人や通りゆく人々にも、活動の姿勢や挨拶から、多少の啓発活動にもつながった事かと思います。
素人的な判断にはなりますが、川の水質的には水生物は多く生息し問題ないかと思われます。
また簡易ではありますが、環境対策室からの提供の水質検査も実施し確認しました。
回収したゴミは一か所に集め、美化業務課の方で引取処分の協力をいただいています。
今後、弊社の課題としましては、効率を図る為のボート一隻追加計画。災害防止の救命浮輪の設備。タモ網等の清掃具の充実。啓発看板の製作。などを充実していきたいと考えています。
まだ小さな活動ですが、市民の協力参加のもと、モラルある地域への推進を図り、健全で安全なまちづくりに寄与し活動を広めていきたいと思います。

「外堀川クリーン作戦」　まちづくりコミュミティ清掃　第三章　2013/8/4

実施月日	25年　8月　4日　（日曜）　10:15～11:45（10:00集合）
施工場所	姫路市外堀川（三左衛門堀橋付近～三条橋付近）
参加人数	合計　20人　（会員 6名　市民 9人　学生 4人　12歳未満 1人）
ゴミの量	18袋（大袋）／ 約　kg

前回と同様、繁殖した浮草の影響で、不法投棄されたゴミが万遍なく広がった状態での回収活動となりました。
川の側面は草木の植物が多く作業をさえぎり、地上隊の網での引上げは、困難のものとなりました。
また川の中央部分は、ゴミが多くあるのを事前に確認していたので、レジャーボートを2艘追加で用意していました。
計3艘のボートにて挑んだわけですが、レジャーボートでは安定もせず、ゴミの引上げの水も入り込み困難でした。
困難を予想していた今回の活動でしたが、予定としていた三左衛門堀橋付近～三条橋付近は綺麗にまりました。
しかしまだその先の、野田川合流地点にかけて多くのゴミがあり、目に余るものがありました。
今回は夏の暑い日にもかかわらず、市民の方々や専門学生の方々は黙々と活動して下さり、
市民の皆様に支えられての活動だと再認識しました。
清掃後のコミュニティ昼食会では、捨てる側と拾う側についてや、ゴミがあるからゴミ捨て場になる心理など
モラルや道徳心について、それぞれが意見交換や交流を深めていました。
各自の自主性参加から、様々な和ができ、汗にまみれた笑顔がとても素敵でした。
今後もこの気持ちが広がり、バトンのように繋がる事を願い、モラルあるまちづくりを進めていきたいと思います。

「外堀川クリーン作戦」　まちづくりコミュニティ清掃　第四章　2013/10/6

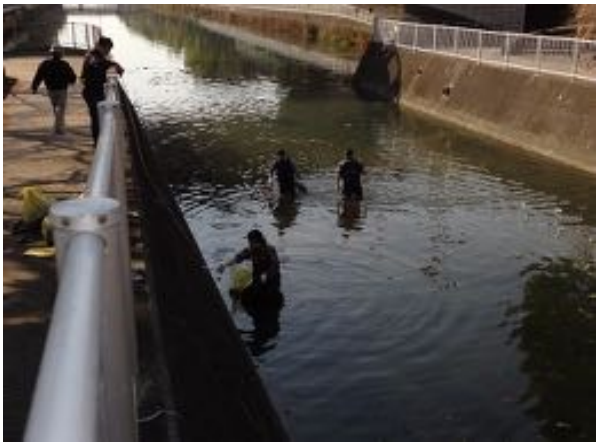
実施月日	25年　10月　6日　（日曜）　10:15～11:45（10:00集合）
施工場所	姫路市外堀川（城陽大橋付近～三左衛門堀橋付近）
参加人数	合計 40人　（会員 7名　大人 15人　学生 16人　12歳未満 2人）
ゴミの量	35袋（大袋）／ 約　kg

回数を重ねるごとに、ゴミの回収に成功し景観がよくなりつつありますが、まだまだ多くの不法投棄がありました。今回は参加者も多く、近所の見学者も少し目につきました。ただ暑かったせいか、挨拶やお声掛け下さる、散歩の方々やウォーキングの方々は少なかった様に思います。
いつも使うアルミボートとゴムボートに、今回から中古購入したFRPボートが参戦しました。少し重くて、川に浮かべる際と引き上げる際に少々困難でした。地上隊は、いつもの様に両岸の草木に阻まれてるのと、水面まで3m程の距離があるので、網で取れる範囲は限られており、思ったほど効率よくいかなくとも負けずに頑張っていました。
参加者の皆さんは、始まると率先して活動してくれています。しかし、思っている以上に重労働で困難だとの声がいつもあがります。この活動は「ちょっとボランティアでも…」って感じの参加では、少々酷かもしれません。
それでも皆様、多くの汗とすがすがしい笑顔で活動を終えています。皆様の充実した笑顔に癒しさえ感じます。
それだけに私共としましては、まだまだ多くの課題があります。天候や季節ごとに状態が変わる自然の把握。
簡単で更に安全な活動方法。両岸の草木を刈れるステージ型ボートの作業しやすいものの考案。ボードの増加。
川底に沈んだ廃棄物の回収方法。などなど。毎回、道具の長さや使い勝手を改良しているのですが、数本は必ず網や柄が壊れたりもします。これからも進化し、モラルあふれる健全ななちづくりに寄与していたいと思います。
この度、姫路市の設置許可を頂き、三左衛門外堀川の手摺柵に、ポイ捨てをしない啓発、モラルの向上への思いをかかげ、看板を12箇所取り付けました。

「外堀川クリーン作戦」　まちづくりコミュニティ清掃　第五章　2013/12/1

実施月日	25年　12月　1日　（日曜）　10:15～12:00（10:00集合）
施工場所	姫路市外堀川（庄田橋付近　三左衛門堀橋付近）
参加人数	合計　11人　（会員 4名　大人 5人　学生 1人　12歳未満 1人）
ゴミの量	袋（大袋）／ 約　kg

日頃の活動の成果もあり、川に浮かぶ不法投棄も目立たなくなってきました。しかし現在もポイ捨ては行われており、「モラル（道徳心）あふれるまちづくり」として、告知や啓発が必要な現状です。
今回は、川底に沈んでいる不法投棄の回収に重点をおき、活動を行ないました。
気づきにくいのですが、川底には大量に粗大ごみ関連が存在しています。信じがたい事実です。
兵庫県中播磨県民局姫路土木事務所様よりお借り頂いた同長靴がとても役に立ち、多くのゴミ回収ができました。
特に気になったのは、盗難自転車や自動車タイヤなどの多さです。参加者のご協力により大量の回収ができましたが、外堀川全体からすると、ほんの一部の回収に過ぎませんでした。今までに数百からの空き缶の回収を行ってきたのですが、まだまだ川底には空き缶やワンカップ瓶など、数千に及ぶような不法投棄が存在している様子が伺えました。
あと一点気になるのですが、大量にヘドロが溜まっている区間がありました。体がグッと沈み、気泡と共に悪臭のガスがブクブクと上がってきました。ヘドロの回収となると対処できかねますが、今後の課題とし対策を考えていきたいと思います。一度崩壊した河川の美化保全改革という課題には、大きな労力と時間がかかり、市民の意識や協力が必要だと痛感いたします。



法人
ビシャスコーポレーション